

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名		在宅当番医制実施事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂本 みゆき
	基本事業	45	地域医療体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	2166
予算科目		会計一般	款4	項1	目1	事業連番10381	法令根拠	成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・住民が休日病気になる時、受診できるよう医療機関を当番制で開けてもらう。菊池郡市医師会に委託。・昭和50年代に休日に受診ができる体制の検討が進み、県の補助事業として関係者との協議の結果、菊池郡市医師会に委託して実施することで郡内で統一して取り組みはじめた。・広報誌や新聞等で周知をしているので休日の受診医療機関としてこの事業は、市民に定着していると思われる。
【業務の流れ】	委託契約の起案、契約書の取り交わし、事業実施、実績及び請求書の確認、支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	広報において、翌月の中旬くらいの前まで掲載されていると助かるとの住民の方からのご意見があり、そのように掲載してもらっている。菊池郡市薬剤師会長から、休日当番薬局の広報掲載について、依頼があつて検討した結果、平成21年7月より合志市の当番薬局のみ掲載することとなった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
菊池郡市医師会に委託し、休日に受診できるよう医療機関(当番医)を決めて実施		菊池郡市医師会に委託し、休日に受診できるよう医療機関(当番医)を決めて実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 委託医療機関数	件	増減なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	→ ア 人口	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
休みでも受診できる	→ ア 受診できなかった件数	件
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
医療機関の体制が整っているにも関わらず、休日に受診できず状態が悪化しないことが、この事業の目的でもあるため、受診できなかった人がいないような体制の整備が必要。		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標		ア イ	件	99	99	99	99	99	99	99	0	
② 対象指標		ア イ	人	54,407	54,856	54,460	55,828	54,500	54,520		0	
③ 成果指標		ア イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円									(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円	1,305	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	
	人件 費	(A) 事業費計	千円	1,305	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	
		(A)のうち指定経費	千円	1,305	1,333	0	0	0	1,333	1,333	1,333	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	2	3	1	1	1	1	1	1	
人件 費	延べ業務時間	時間	90	80	50	30	50	50		0		
	(B)人件費計	千円	360	318	199	123	206	206		0		
トータルコスト(A)+(B)				千円	1,665	1,651	1,532	1,456	1,539	1,539	1,333	0

事務事業名	在宅当番医制実施事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 広報での周知、新聞紙上の掲載等、住民の方に休日在宅当番医制度は十分周知されていると思われるので、達成可能と考える。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 事業を開始して以来、30年以上が経過し、市民に定着した事業となっているので、今後も継続する必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 医師会との協議で、最小限の委託料となっているので、これ以上の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務に係る時間数も最小限で行っておりこれ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民全員を対象としているので公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 医師会との委託契約、調整のため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

休日の急な病気やけがへの対応のため、長期にわたって整えられてきた事業であり、市民の医療の確保のために重要な事業で、自治体として人口を基礎として負担金を拠出している。特にインフルエンザなど集団感染がある場合などは、利用が多く、広く周知されている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								